

平成 25 年度

事業報告書

社会福祉法人 標津福社会

社会福祉法人 標津福社会 事業報告

1 はじめに

I. 収支決算状況

平成 25 年度、事務局内で議論した収支事業計画では▲16,313 千円の赤字事業計画を立てざるを得ませんでした。それは、平成 24 年 4 月の介護報酬改正による多床室単価の引下げ等が原因でありました。

その後、支出の見直しで収入は 307,916 千円、支出は 306,964 千円、952 千円の黒字事業計画を平成 25 年度の収支事業計画といたしました。

しかし、地域から介護サービスのニーズが高く、収入は予算対比では 5,990 千円ではありませんでした。

状況は特養・短期入所・デイサービス各事業所の稼働率増となっておりますが、逆に入居者平均介護度は 0.14 ポイント減、1 日当たりの介護報酬単位減が大きな要因と考えます。

また、支出の部分では人件費の削減（守衛業務の一部職員化等）による前年度対比▲3,092 千円、事業費は給食費が稼働率アップに比例して前年度比より 2,582 千円増となったが、事務費は 897 千円に抑えることができ、全体では前年度比 2,529 千円の削減が行われました。

その結果、平成 25 年度決算では 255 千円の黒字決算で迎えることができた。

II. 施設営繕

施設に関しては開設から 21 年目を迎え、老朽化が進んでいるため、施設内フロアの改修工事、トップライト補修工事、特養入所者ベッドの一部更新をいたしました。

①施設内フロア改修工事	11,130 千円
②トップライト補修工事	1,029 千円
③特養入居者ベッド一部更新（5 台）	2,236 千円

平成 26 年度は、特養入所者ベッド 20 台の更新を予定しています。

III. おわりに

平成 27 年度には 3 年に一度の介護報酬の改定があります。その中では施設・事業所の特徴を生かした機能分け介護報酬改定が予想されます。

日本の福祉財源は厳しい状況となっており、来年度の改正もそれに比例した改定となるのは避けられません。

また、今年 4 月には消費税の増税、そして来年 10 月には消費税 10%への更なる増税が予定されている事も、福祉事業の運営面からみても大きな懸念となっています。

今後の人口世代状況は少子高齢化社会が更に進み、高齢者の重症化、核家族化による独居老人や老々介護世帯の増加により、介護を必要とするニーズも高まってきます。その為にも、新しい事業の取組みや職員のスキルアップ、そして安定した収益確保が必要となります。

今後の高齢化社会に備え、「前例のない超高齢化社会」を全ての町民が安心していきいきと暮らし、元気なお年寄りでいてもらえるよう、各事業所関係機関との連携の強化を図りながら進めて行きたいと考えます。

2 特別養護老人ホーム標津はまなす苑

【 1.入苑の状況 】

	入苑者数（月末）			満床時 ベット数	稼働 ベット数	稼働率 （%）
	男性	女性	合計			
4月	12	45	57	1,740	1,665	95.7
5月	12	45	57	1,798	1,754	97.6
6月	12	46	58	1,740	1,678	96.4
7月	12	46	58	1,798	1,745	97.1
8月	12	46	58	1,798	1,764	98.1
9月	12	45	57	1,740	1,719	98.8
10月	12	46	58	1,798	1,791	99.6
11月	12	46	58	1,740	1,724	99.1
12月	12	45	57	1,798	1,780	99.0
1月	12	46	58	1,798	1,765	98.2
2月	12	45	57	1,624	1,565	96.4
3月	11	46	57	1,798	1,767	98.3
合計	143	547	690	21,170	20,717	
平均	11.9	45.5	57.5	1,764	1,726	97.9
前年平均	11	46	57	1,769	1,684	95.5

- ・前年度（H24）に比べ、ベッド稼働率のアップに繋がった要因として、入院者数、延べ入院日数の大幅な減少が主な理由と考えられます。特に肺炎による入院が激減したことで、入院期間が長期化するケースが少なくなっています。

平成25年度には、「肺炎球菌ワクチン」の接種を実施しており、一定の効果が出ていると考えられる事から、H26年度以降につきましても希望者を募って実施していく予定です。

【2. 入院状況・入退所状況】

	入院状況			入退所状況	
	延入院日数	実人数	平均(日)	入所(入苑)	退所(退苑)
4月	17日	2	0.6	0	1
5月	35日	2	1.1	2	0
6月	64日	3	2.1	0	0
7月	46日	3	1.5	0	1
8月	15日	1	0.5	1	1
9月	13日	1	0.4	1	0
10月	7日	1	0.2	0	0
11月	0日	2	0.0	1	2
12月	0日	2	0.0	2	1
1月	28日	4	0.9	0	1
2月	13日	1	0.4	1	1
3月	0日	0	0.0	0	0
合計	238日			8	8
平均	19.8日	1.8	0.6		
前年平均	48日	2	1.6	合計 13	合計 13

【3. 入院時の病名内訳】

	肺炎(誤嚥性含む)	骨折等	その他
H25	0	1	8

【4.入退所状況内訳】

※ H25.4.1~H26.3.31

状況	入苑			退苑		
	在宅	病院	他施設	入院	死亡	他施設
小計	4	4	0	1	7	0
合計	8			8		

・新規入苑は8名、退苑は8名でした。

【5. 入苑者の介護度】

※ 人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介1	8	8	8	8	8	9	9	10	9	9	8	8
介2	8	9	9	9	8	7	6	7	7	7	7	7
介3	9	10	11	10	9	9	9	9	8	7	8	8
介4	14	14	15	15	16	17	17	16	16	15	16	16
介5	17	17	16	16	17	17	18	17	19	19	18	19
平均 介護度	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5
前年	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5

- ・年間平均介護度は、男性 3.6 女性 3.4 施設全体 3.44 となっており、H24 年度平均介護度 3.58 と比べ若干の平均介護度の低下が見られています。この要因としては、在宅及び医療機関から高い介護度で入所された方が、その後、身体状況等が向上し入所後の更新認定により介護度が軽度に改善されるといったケースが多かったということが第一に挙げられると考えます。

【6. 入苑者の年齢構成】 ※ 集計日 H26.3.31

	人数	認知
65 未満	2	1
65～69	2	1
70～74	3	1
75～79	8	2
80～84	5	4
85～89	18	9
90～	20	10
合計	58	28

男	平均 年齢	80.6	平均 入苑期間 (ヶ月)	3年10ヶ月
女		86.9		4年7ヶ月
計		85.7		4年6ヶ月

【最高年齢】 男性：97歳 女性：101歳

【最年少者】 男性：61歳 女性：61歳

※ **認知症**は認知症自立度がⅢa以上の利用者

- ・入苑者平均年齢は 85.7 歳となっており、昨年度平均 85.9 歳と比較し、ほぼ横ばいの状態が継続している。
- ・平均入苑期間は 4 年 6 ヶ月。昨年度は 3 年 10 ヶ月であり、8 ヶ月ほど伸びている状況。平成 25 年度の新規入所者が少なかった為と考える。

【7. ADL 状況】 ※ 集計日 H26.3.31

① 食事形態

(主食)

	常食	粥	ミキサー	経腸
人数	19	28	2	0

(副食)

	常食	ざく	刻み	極刻み	ミキサー	経腸
人数	17	8	16	2	6	9

- ・便秘傾向の方対象で通常の食事に玄米食を提供しています。
(排便コントロールに効果がみられている)
- ・8月に夕食時に合わせて中庭で野外食(ジンギスカン等)を実施しています。
- ・毎月、複式の選択メニューによる手作りのおやつや飲み物などを誕生会喫茶に合わせて提供しています。

② 入浴の状況

	一般浴	特浴	座浴
人数	12	21	25

③ 移動(歩行)の状態

	自立	歩行器	車イス	リクライニング
人数	6	7	32	13

【8. 家族等の面会状況】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	150	188	162	225	161	157	201	154	67	15	7	1,511

- ・年度初めの4月、年明けの1月～3月は面会が極端に少ない状況となっておりますが、例年通りインフルエンザや風邪などの流行に伴う「面会制限」によるもの。

【9. 会議・委員会等の運営状況】

<p>身体拘束廃止推進委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア別に身体拘束を行っている入苑者の記録と評価を行う。また、身体拘束解除に向けた取り組みを行う。 ・身体拘束に繋がりそうな入苑者に対して、対応策を検討、実施する。 ・職員に身体拘束に対する研修（勉強会）を行う。
<p>事故防止対策委員会 (12回実施) 緊急事故防止対策委員会 (1回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア別に施設内の事故報告について個別対策を検討。 ・ヒヤリハット報告について各フロア毎に統計をとる。 ・個別に対応した事故報告について、対応を再確認する。 <p>※誤嚥による事故が頻回であった為、施設長招集により開催。</p>
<p>感染症対策委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内点検及び換気扇、入浴設備の清掃。 ・食中毒、ノロウイルス等の感染症に対する職員研修。 ・入苑者、利用者、職員の健康状態の確認。 ・衛生関係備品の確認、準備、指導。
<p>排泄委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人別の排泄状況の確認。(使用オムツ等の把握も含む) ・おむつゼロに向けての取り組み計画、実施、状況確認。 ・排泄関係の職員研修。 ・釧根老施協研究発表会において当施設の取り組みに関する研究発表を行う。
<p>行事企画委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特養年間行事の立案、準備、実施。 ・遊びりセッション（集団機能訓練など）、リラクゼーション（寝たきり対象）、誕生会喫茶、桜見学、ビデオ上映、居酒屋、避難訓練（図面上の避難訓練も含む）、母の日、父の日、野外食、民謡のつどい観覧、バスハイク、お盆法要、夏祭り、水きらりパレード見学、標津神社祭見学、敬老会（開苑20周年記念）、運動会、文化祭見学、クリスマス会、餅つき、豆まき等。
<p>研修委員会 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の各研修立案、準備、実施。 ・内部研修（10回） ・外部研修（31回）※札幌、帯広、釧路、根室、中標津等
<p>責任者会議 (12回実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・諸連絡、調整、法人の事業収支状況報告。

職員（全体）会議 （1回実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度決算報告、H25年度予算について。 ・平成25年度人事評価（部門目標・個人目標）など。
主任会議 （11回実施）※不定期	<ul style="list-style-type: none"> ・介護統括主任、フロア主任3名による意見統一、ケア方法や職員対応等の確認。
フロアミーティング （12回実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア別によるケアの確認、調整。
ケアカンファレンス （12回実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・特養の個別介護計画の評価、検討。
介護士会議 （12回実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・特養ケアに対するケア方法の確認統一など。
医療的ケア対策推進委員会 （12回実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員による喀痰吸引の実施状況の確認、及び問題点の検討や看護職員による注意喚起、指導など。
新設検討委員会 （4回）	<ul style="list-style-type: none"> ・法人新事業の開設に向けた検討、協議などの取り組み。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員研修 ・入所優先度判定委員会（11回） ・地域ケア会議（11回）

【10. 援助実施内容】

（1）生活援助

① 食事の提供と援助

入苑者の食事摂取状況に応じた食事形態の提供、また食事中の見守り及び、適切な食事介助を提供する事による誤嚥の予防。

また、食事を楽しんでいただく為、季節毎の行事や献立を工夫して提供。

② 入浴介助

H25年度も一般浴（温泉で大きい浴槽）での入浴を継続して提供。

H26年度においても、プライバシーに配慮し、丁寧な介助によりご利用者の清潔の保持、気持ちの良い入浴を心掛ける。

③ 排泄介助

「おむつゼロ」への取り組みの一つとして、個々の状況に応じた排泄の見直しを随時、排泄委員会が中心となって取り組んできた。

今年度についても昨年度と同様、より一層取り組みを強化し、お一人でも多くの方がトイレでの排泄が可能になるよう継続して取り組みを行いたい。

(2) 健康管理

入苑者が心身共に健康で充実した日常生活を送る事ができるよう、個人の健康状態の把握に努め、標津病院等の協力医療機関の協力の下に健康面の管理を行う。

また、ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症流行時期には、面会制限等の感染予防対策へのご家族等の協力により感染者が出る事無く経過。

- ・入苑者健康診断(1回)
- ・入苑者歯科検診(1回)
- ・職員健康診断(2回)

3 標津はまなす苑短期入所生活介護事業所

【 1.利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	稼働率 (%)
4月	218	27	7.27	2.2	30	80.74
5月	242	31	7.81	2.2	31	86.74
6月	220	30	7.33	2.3	30	81.48
7月	205	26	6.61	2.2	31	73.48
8月	243	31	7.84	2.1	31	87.10
9月	245	33	8.17	2.2	30	90.74
10月	251	31	8.10	2.0	31	89.96
11月	241	25	8.03	1.9	30	89.26
12月	237	27	7.65	2.0	31	84.95
1月	199	31	6.42	1.9	31	71.33
2月	232	27	8.29	1.8	28	92.06
3月	263	26	8.48	2.0	31	94.27
合計	2,796				365	
平均	233	28.7	7.66	2.1		85.17
前年平均	230	27	7.58	2.2		84.27

- ・9ベット+空床(入院者等の空ベット)の利用型
- ・平均稼働率 85.17%であり昨年(H24)の 84.27%と比較すると若干ではありますが稼働率がアップしている。

平成26年度については、祝祭日等の送迎サービスを含め日帰り利用等の受け入れを

行う事で、ご利用者のニーズに応じていきたいと考える。

4 デイサービスセンター標津はまなす苑

【 1. 利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	キャン セル	稼働率 (%)
4月	480	80	22.9	1.3	21	39	76.1
5月	480	81	22.9	1.3	21	37	76.1
6月	469	86	23.5	1.3	20	40	78.1
7月	545	86	24.8	1.3	22	35	82.5
8月	534	84	24.2	1.3	22	47	80.9
9月	471	84	24.8	1.3	19	39	82.6
10月	519	85	23.6	1.3	22	46	67.4
11月	493	84	24.7	1.2	20	36	70.4
12月	448	81	23.6	1.2	19	36	67.4
1月	453	85	23.8	1.1	19	43	68.1
2月	375	81	22.1	1.1	17	79	63.0
3月	440	86	23.2	1.2	19	64	66.1
合計	5707				242	541	
平均	475	83	23.7	1.3		45	73.2
前年平均	431	78	21.4	1.4		41	70.0

- ・定員 35 名(予防・要介護複合型) 月～金(週 5 日)の営業。
- ・介護保険の改正により H24. 4 から提供時間が 9:00～16:10 となっている。
- ・H26. 4 月より月～金の間の祝日も営業となっている。
- ・平成 25 年 10 月よりデイサービスの一日の利用定員を 30 名から 35 名の利用定員へ変更しておりますが、平均稼働率は昨年に比べ、73. 2%と若干の伸びとなっています。利用実人数は、年平均で 83 名、利用延人数は一ヶ月の平均 475 名、一日の平均利用人数 23. 7 人となっており、前年に比べ若干の伸びとなっている状況です。年度途中より、利用定員を 35 件に増やし受け入れを積極的にした為と思われます。ただし、月別に見ると、2 月・3 月については悪天候による営業中止が数日間あり、前年度に比べ稼働日数が下がっております。

今後も引き続き、サービス内容の充実や祝日のサービス提供等により新規利用者を獲得し稼働率向上も目指していきます。

【 2. 利用者の介護度 】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	18	14	21	17	4	5	1
5月	19	14	21	18	2	5	2
6月	22	13	22	20	2	5	2
7月	22	15	22	19	1	5	2
8月	22	13	22	18	2	5	2
9月	23	10	24	17	2	6	2
10月	24	12	22	17	3	5	2
11月	23	12	25	16	2	4	2
12月	24	11	22	15	3	4	2
1月	24	12	23	15	6	4	1
2月	22	13	25	11	5	4	1
3月	25	12	26	9	6	7	1

【 3. 地区別集計 】

(H26.3.31 時点)

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
標津町内		3	8	10	26	5	52
川北		5	4	7	9	6	31
古多糠			1	1		4	6
茶志骨(パ)				1	2	1	4
茶志骨(住)				2	1	1	4
薫別						1	1
忠類	1		2	2	2		7
伊茶仁			1	1	1	2	5
合計	1	8	16	24	41	20	110

5 標津福祉社会居宅介護支援事業所

【 1. 利用の状況 】

	請求 件数	新規者	認知症 Ⅲa 以上	独居高齢 者加算	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4	要介 5
4月	22	1	4	3	8	8	2	4	0
5月	20	1	4	3	7	7	1	4	1
6月	21	0	4	3	7	8	1	4	1
7月	20	0	4	3	7	8	0	4	1
8月	22	2	4	3	7	9	0	5	1
9月	23	2	4	4	9	9	0	4	1
10月	21	0	3	4	7	10	0	2	2
11月	21	0	3	4	8	9	0	2	2
12月	20	0	3	4	7	9	0	2	2
1月	20	1	3	4	9	8	0	2	1
2月	20	1	4	5	10	6	0	2	2
3月	21	1	4	5	11	6	0	2	2
合計	251	9	44	45	97	97	4	37	16
平均	20.9	0.7	3.6	3.7	8.0	8.0	0.3	3.0	1.3
前年平均	20.2	1	4.8	2.7	7.5	7.8	1.9	3.0	0

- ・H25年度の平均請求(介護サービスを利用した方)件数は20.9名となっており、前年に比べ若干上がっています。昨年度に引き続き、新規申込みを多く受け入れておりますが、担当件数が大きく伸びておらず、担当している要介護者の中で施設入所者や死亡者も多くあった為、新規受け入れ数に比べ、担当件数がそれ程の伸びとならなかった要因の一つとして考えられます。今後も継続して介護保険新規申込み者の方の居宅担当(居宅介護支援事業所)として受け入れをしていきます。

6 訪問配食事業

【 1. 利用の状況 】

- ・H25年度の配食数は年間681食で、延人数は32人(月平均2.66人)の状況でした。今後についても美味しい、栄養バランスの取れた食事に考慮しながら、健康的な食事を提供していきます。また、配食時には給食サービスの特色を生かし、常に声かけをし、利用者の安否や健康状態の把握に努め、必要あるときは、関係機関と密に連絡調整を行い必要な対処ができるよう努めて参ります。